

中央新幹線 事業説明会

出席してきましたので、当日の様子や配布された資料の一部をご紹介します。

当社が計画している非常口隣接地域にお住いの皆様へ 中央新幹線(品川・名古屋間)事業説明会のお知らせ

中央新幹線(品川・名古屋間)につきましては、平成26年10月17日に国土交通大臣より、工事実施計画の認可を受けました。

つきましては事業の内容について、当社が上小山田町に計画している非常口隣接地域にお住いの皆様にご理解を深めていただくため、次の日時及び会場で説明会を開催します。

○日時

平成27年4月25日(土)13:30～

○会場

小山中学校 4F 多目的室
町田市小山ヶ丘1-2-4

○対象

小山ヶ丘の当社が計画している非常口隣接地域にお住いの方
※本チラシをポスティングをさせて頂いた方



※その他ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

<お問合せ先>

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線東京工事事務所、
住所 東京都港区高輪3-24-16 ISAビル3F
電話 03-6847-3701(受付日時/土・日・祝日・年

当日の様子です。相手企業側は10人ほどでしたが、こちらの一般参加者は4人しかいませんでした。



中央新幹線（東京都・名古屋市間）

環境影響評価書 （東京都）のあらまし

当日配布された資料の冊子です。事業内容や施設の内容、リニアの原理、磁界、環境影響などが記載されました。



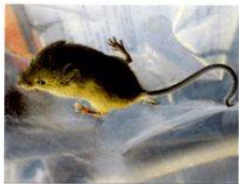
平成26年8月

東海旅客鉄道株式会社

●動物・植物・生態系

重要な動物への影響については、生息環境に変化は生じない、もしくは生息環境に生じる影響の程度がわずかであることから、全体として小さいと予測しました。また、重要な植物及び重要な群落への影響については、生育環境に変化は生じない、もしくは生育環境に生じる影響の程度がわずかであることから、全体として小さいと予測しました。地域を特徴づける生態系への影響については、注目種のハビタット（生息・生育環境）に変化は生じない、もしくはハビタットに生じる影響の程度がわずかであることから、全体として小さいと予測しました。

なお、一部の重要種（ホンショウカヤネズミ、キンラン）は、生息・生育環境の一部が保全されない可能性があります。環境保全措置を実施することにより、影響は小さいと予測しました。キンランについては、環境保全措置の効果を確認するため、事後調査を実施します。



ホンショウカヤネズミ



キンラン

●主な環境保全措置

- ・資材運搬等の適切化
- ・濁水処理施設及び仮設沈砂池の設置
- ・工事施工ヤード等の林縁保護植栽等による動物の生息環境の確保
- ・防音シート、低騒音・低振動型の建設機械の採用
- ・動物個体の類似環境への誘導
- ・工事に伴う改変区域をできるだけ小さくする
- ・重要な種の移植

●事後調査内容

- ・移植した植物の生育状況
- 調査時期・頻度
- 対象種の生活史及び生育環境にて設定

上記の冊子の内容の一部です。

（右）小山中学校の北側の尾根緑道から見た景観の変化が記載されています。

（左）動植物の生態系に関して記載されています。

●景観

鉄道施設（換気施設）の存在に係る景観については、尾根緑道サイクリングコースにおいて、鉄道施設が眺望されるようになりますが、既に人工工作物が現存していることから、影響は小さいと予測しました。



現況



完成後のイメージ

●人と自然との触れ合いの活動の場

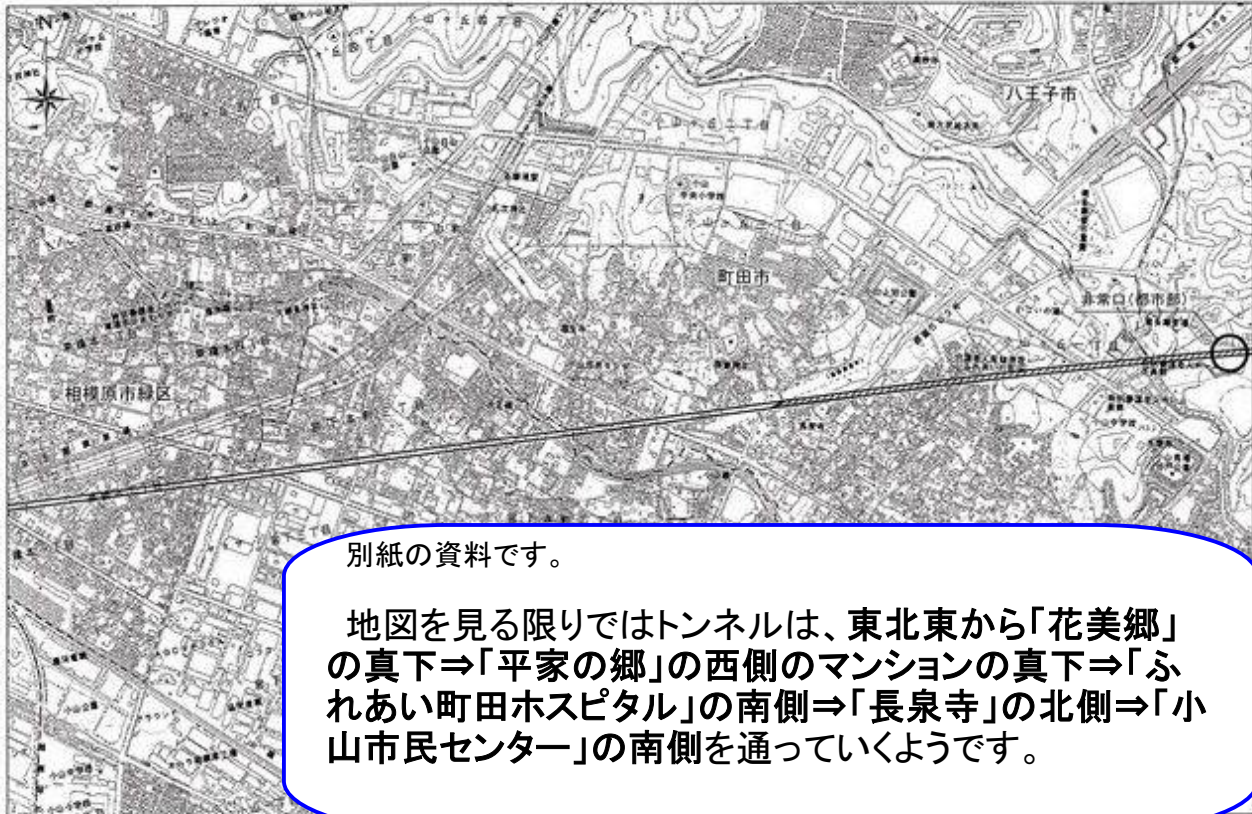
換気施設（換気施設、変電施設）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場については、尾根緑道や尾根緑道サイクリングコースの一部から鉄道施設が視認できますが、少なくとも快適性の変化などへの影響は小さいと予測しました。

既存の工作物の除去、トンネルの工事に係る建設発生土等の影響については、撤去することにより、低減されていると予測しました。また、建設発生土等（約〇〇〇〇立方メートル）については、本事業内で再利用、他の公共事業などへの有効利用などを考えての供用に係る廃棄物の影響については、廃棄物の分別・再資源化等の環境保全措置により、低減されていると予測しました。

資材及び機械の運搬に用いる車両の運行、建設資材の使用及び廃棄物の発生（換気施設）の供用に係る温室効果ガスの影響については、低炭素型建設機

全措置

- 【形状の配慮】
- 【人と自然との触れ合いの活動の場】
- ・鉄道施設の形状、色合い等の工夫による周辺景観への調和の配慮
- 【廃棄物等】
- ・建設発生土の再利用
- ・発生土を有効利用する事業者への情報提供
- ・廃棄物の分別、再資源化
- ・廃棄物の処理、処分円滑化
- 【温室効果ガス】
- ・低炭素型建設機械の採用
- ・低燃費車種の選定、積載の効率化、運搬計画の合理化による運搬距離の最適化
- ・省エネルギー型製品の導入
- ・温室効果ガスの排出抑制に留意した施設の整備及び管理



別紙の資料です。

地図を見る限りではトンネルは、東北東から「花美郷」の真下⇒「平家の郷」の西側のマンションの真下⇒「ふれあい町田ホスピタル」の南側⇒「長泉寺」の北側⇒「小山市民センター」の南側を歩いていくようです。



※ 本図は大深度地下の公共的使用に関する特別措置法第2条第3項の事業区域の範囲の位置を概観して示したものであります。
 ※ 本図に示す路線の計画範囲及び事業区域は概ねの位置であり、詳細については今後検討してまいります。
 ※ 非常口、保守用車留置施設(資材搬入口)については決定されたものではありません。詳細については今後検討してまいります。
 ※ 本図は用地買収の区域、区分地上権設定の区域を示すものではありません。
 ※ 本図の地形図は、航空写真(平成23年撮影)に基づき作成したものであり、多少の誤差や現在の建物の立地状況と合致していない点があります。
 東京都内(町田市)の路線概要(3) (緑川・名高駅間の概要)

工事車両通行に関する資料です。当町内会として気になった部分なので抜粋しました。

尾根幹線道路(稲城・府中方面)から、パーミヤン・トイザラスの信号を左折 ⇒ 特養美郷・ミニストップ信号を左折 ⇒ 花美郷・東典礼の前を右折 ⇒ 工事現場 ⇒ 中々村自治会14班の北側の尾根緑道をとおり ⇒ 桜美林学園グラウンドを右折 ⇒ 小山中学校前の信号を右折 ⇒ 多摩境通りに戻る・・・と、なるようです。

また、1日に300台ほどの工事車両が行きかう予定で、交通誘導員を配置するようですが、小さなお子様がいらっしゃるご家庭は、くれぐれもご注意くださいと思いました。

工事行程です。

H27年は井戸調査、H28年は工事説明会・工事開始、H39年開業となるようです。

工事工程(上小山田町付近) ⑤主な工事内容

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
工種		調査 井戸調査	工事 説明会											開業
土木	ヤード整備													
	掘削工													
	構築工													
	建設関連工													
電気	電気機械設備工													
	掘削工													
	内部構築工													
	ボイラウェイ設置工													
電気機械設備工														

※工事計画は現時点の計画であり、変更の可能性があります。

工事車両通行に伴う安全対策



井戸等の調査

大深度地下を使用する区間では、トンネルに直接あたる40m以上の深井戸等の物件があるかどうかの調査を行います。(大深度地下の公共的使用に関する特別措置法 第13条)

【調査の概要】
 ルートにかかる土地や建物の所有者や管理者の皆さまを対象に、事前にお知らせしたうえで各戸を訪問し、井戸等の有無、形状、深さ等の調査を行います。

調査のイメージ

調査にあたりましては、皆さまのご協力をお願いいたします。

以上、中村町内会広報委員より